

病院における「質向上活動」

健全な病院組織運営を継続させていくためには治療成績、合併症などの臨床アウトカム、収益、費用対効果、コストなどの財務アウトカム、患者や職員の満足などの満足度アウトカムの3つの視点からのアウトカムをバランス良く向上させていくことが必要です。このためには組織的な質管理(Quality Management)が重要で質向上活動は不可欠と言えます。医療における質改善は患者に必要とされる医療を的確に安全に実施できる標準プロセスの提供と合併症対策が重要な要素です。このプロセスアプローチとしては診療ガイドラインやクリティカルパスなどが使用され医療現場で幅広く普及してきています。しかし、これからはプロセスアプローチに加え臨床指標(質評価指標)などによるアウトカムアプローチからの評価が重要となってくると思います。国立病院機構もクオリティマネジメントの点から臨床評価指標を用いたPDCAサイクルに基づく医療の質改善プロジェクトを立ち上げました。国立病院機構は従来から全ての病院の臨床データを集積し臨床評価を行ってきた経緯があり、わが国の医療にとっても貴重な資料を提供しています。国立病院機構の臨床評価指標は平成18年、26指標で開始されましたが、その後平成22年から87指標、平成27年からは115指標があげられ、今後、これらについての検討がなされることとなります。昨年度までは臨床評価指標の結果が各施設に報告されるのみでしたが今年度から個々の施設において臨床評価指標を用いての改善の取り組みが開始されます。当院は来年度から開始するグループに属することになります。来年度、機構の分析した臨床評価指標の中で当院にとって重要な1項目を選択し改善に向かって対策を立て実行していくこととなります。臨床評価指標を見直すことは、私達の病院の診療レベルを知ることであり、標準以下の項目を改善していくことは医療の質の向上に直接反映させることができます。また、臨床アウトカムを改善することは、財務アウトカムを向上させることでもありますし、このことで満足アウトカムもよくなると思います。国立病院機構はわが国で最も大きな病院組織であり多くの臨床データが集積できる利点がありますが、最近個人情報管理の点から大きな問題がでてきておりインターネットの使用に制限がかかってきています。病院は多くの重要な個人情報を扱う職場でもありますので、データの管理には十分気をつけていただきたいと思います。先にも書きましたが来年度から当院は臨床指標を用いた改善に取り組めます。最初は1指標を取り上げスタートしますが、将来的には全ての指標を対象に改善していきたいと思っています。すでに臨床指標を用いて改善に取り組んでいる病院もあるようですが、当院では初めての試みです。効率的にPDCAサイクルを動かし高知病院における「質向上活動」を高めて、地域に信頼される病院になれるよう頑張っていきたいと思います。